


# 山行報告書

報告書作成

2013/01/03

山名 [山域]	大菩薩嶺 茅ヶ岳	目的と方法	登山入門、雪を抱いた富士山を眺める
登山期間	2012/12/28-29	山行形態	ロッジ泊 
参加人数	5名		

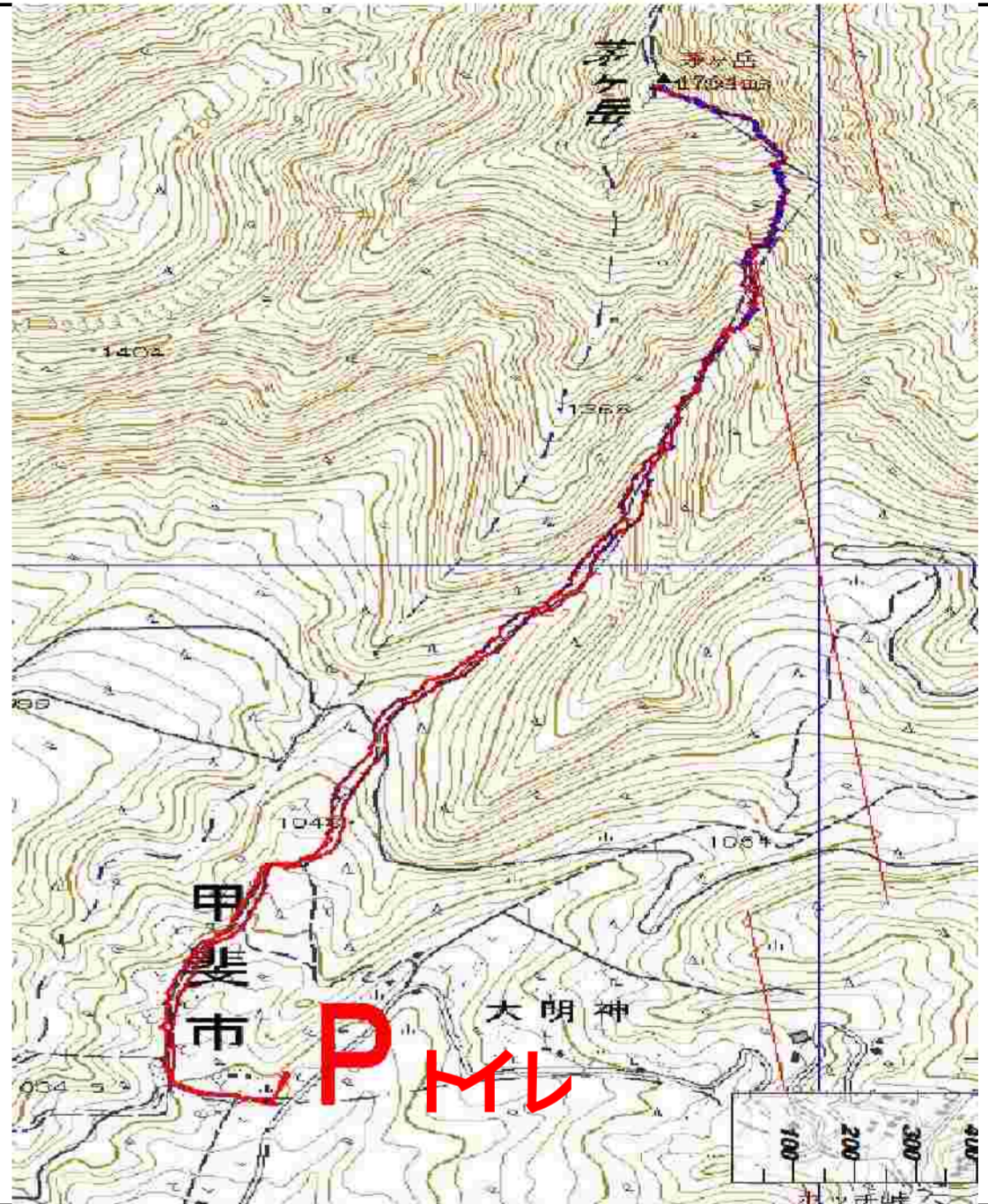
## 行動記録

### 1日目 (大菩薩嶺)

豊田南IC (5:30) == 恵那峡PA (6:40-6:55) == 一宮御坂IC (8:40) == ロッジ長兵衛 (9:50-10:25) 上日川峠 (かみにつかわとうげ) ---- 福ちゃん荘 (10:55) 分岐 ---- 雷岩 (12:05) ---- 大菩薩嶺 (12:10-13:10) ---- 神成岩 (13:30) ---- 親不知ノ峠 (13:45) ---- 大菩薩峠 (13:55) --- 福ちゃん荘 (15:00) 分岐 ---- ロッジ長兵衛 (15:35) 夕食 (18:00) 就寝 (21:00)

### 2日目 (茅ヶ岳)

朝食 (6:50) ロッジ長兵衛 (8:10) == 一宮御坂IC (9:00) == 葦崎IC (9:50) == 深田公園 (10:00-10:30) ---- 女岩 (11:30) ---- 茅ヶ岳 (13:20-13:50) ---- 女岩 (14:45) ---- 深田公園 (16:00-16:15) == ゆーぶる葦崎 (16:40-17:40) == 葦崎IC == 座光寺PA (19:00) == 豊田南IC (20:40) == 解散 (21:00)



### \* 日誌 \*

#### 1日目

上日川峠はまでは車道が通り、道の脇に凍った雪が残っていた。明日の帰りの下りを心配する。その先にロッジ長兵衛がある。今夜はこちらでお世話になるのだ。ロッジ前の駐車場でアイゼンを履き、ロッジ長兵衛横の車道に行く。福ちゃん荘を過ぎると登山道の入口で、登となる。岩が混ざった登りなのだが、ところどころ雪と氷がついていると思えば、岩肌が出ていたり何度もアイゼンを外したくなかったが、そうこうしている間に雷岩に着き、そこから大菩薩嶺はすぐだった。山頂は木々にかこまれており、展望は望めない。今日の山頂での楽しみは手作りカレーうどんなのだ。数種類の野菜の甘みが溶け出したおいしいカレーうどんだった。下山途中の大菩薩峠に出ても富士山のちょうど雪が冠った辺りから雲にかくれており残念だったが、空は高曇りだったので周囲の山々の展望は望め、下界の街を雲が漂う幻想的な光景を楽しめた。ロッジ長兵衛では、暖かいお風呂、おいしい夕食とビールで和み、薪のストーブの横で大富豪をした。年末の慌ただしさを忘れるやさしい時間となった。

#### 2日目

思いがけず快晴となる。高速道路からアルプス山脈の銀嶺を楽しむ。茅ヶ岳は深田久弥終焉の地である。深田公園で駐車し、登山口で計画書をポストに入れる。気温が高い為、木々に積もった雪が溶けてポタポタと雨の様に降り掛かる。女岩までは霧の中、林道の緩い坂をひたすら登る。暑くて汗が出る。女岩は落石のためトラバースルートができていた。厚くなった落ち葉の上に雪が積もり、少しの急登でも登り辛い。汗がどんどん出る。稜線に出ると岩の細尾根で、氷と泥が混ざり緊張が続く。頂上手前に深田久弥の石碑があった。頂上に着いたが、雲に覆われて展望は望めなかった。昼食を取り早々に引き上げようとしたその時、目の前に富士山が現れるのである。わずかの間に雲が一気に晴れた。その様に皆で感動し、笑顔の記念撮影となった。八ヶ岳をはじめ、360度のすばらしい雪の山々をみることができたのは深田久弥の粋な計らいなのか。下山はアイゼンに頼り、慎重に下りた。

### \* 感想 \*

忘年宴会登山「ロッジでのあまりの居心地の良さに味を占めてしまったら困るな」と思っていた。でもたまにはこんな贅沢気分を味わえる山行もいいな。この2日間は雪山初心者の私にはアイゼン歩行練習にとっても有意義だった。瞬間に現れたおおきな富士山の雄姿をみたら拜まずにはおれなかった。